



相田大希「このはずくの兄弟」2004年

第2回
埼玉県障害者アートフェスティバル

みつめあい

2010.12.7 Tue → 12.12 Sun

埼玉県立近代美術館 一般展示室1・2

みつめあい

会期：2010.
12.7(火)-12.12(日)
会場：埼玉県立近代美術館
一般展示室1・2(地下1F)
時間：10:00 - 17:30
観覧：無料

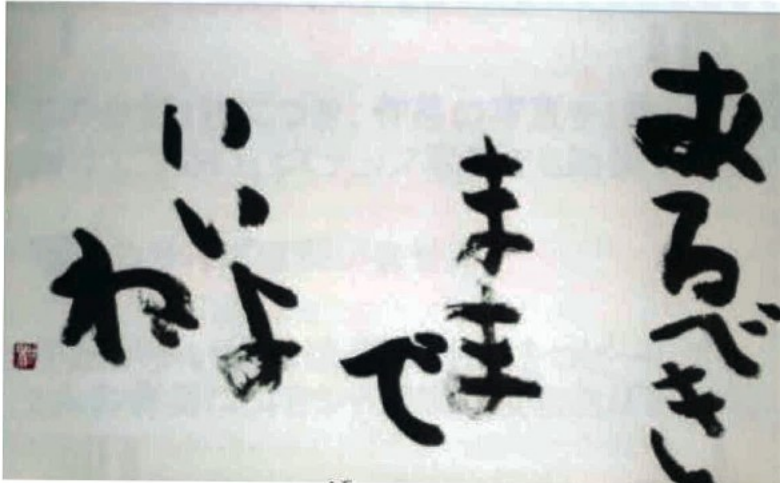
主催：埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
企画：「みつめあい」展プロジェクトチーム
協力：跡見学園女子大学 / 埼玉県立大学 / 武蔵野美術大学

昨今、障害とともに生きる人々の創り出す美術作品が、アール・ブリュットやアウトサイダー・アートと呼ばれ、彼らと社会をつなぐ架け橋として、またアートの新たな可能性として注目されてきています。

本展では、福祉・障害の枠にとらわれず、アートそのものの価値や魅力に焦点をあて、評価し、展覧する形としました。表現者たちによって命を吹き込まれた作品の数々を是非ご堪能ください。

そしてアートを介して、創り手である「作者」、本展を催す「学生」、そして「来場者」、これら三つの目、三者の姿を感じとり、そして考えていける交わりの場となれば幸いです。三つの目が無限に交差する場。

それが本展「みつめあい」の由来です。



永淵 和奈



小幡 海知生



原口 めぐみ



キャンキャン



片波見 知代



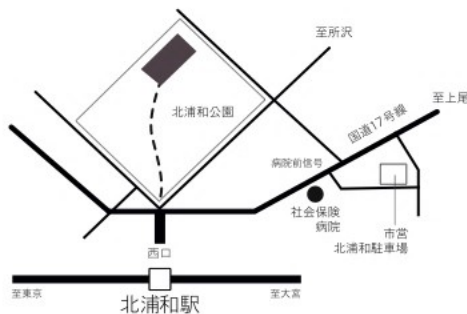
吉元 耕平

アートで出会う あなたとわたし

今回「みつめあい」というタイトルのもと、展覧会を企画しました。作家と私達学生のみならず、様々な方が展覧会場を通して互いを見つめ合い、理解し合う場を作りたい、という願いから生まれたタイトルです。そのため、まずは私達自身が作家取材し、制作現場を見て、作家との対話を重ねました。現場は私達の想像をはるかに超えたものであり、衝撃を受けたと同時に作家の制作時の迫力や温かい人柄に感動もしました。

その体験を多くの人達に伝えたく、今回の展覧会を企画いたしました。来場して下さった方々にも私達の目線で作品を見ていただき、作品を通して互いに「みつめあい」を感じていただけたら光栄です。企画委員長 / 武蔵野美術大学 芸術文化学科3年 阿部葉子

ACCESS



埼玉県
障害者アートフェスティバル
実行委員会事務局
(埼玉県障害者福祉推進課内)
埼玉県さいたま市
浦和区高砂3-15-1
電話：048-830-3312
FAX：048-830-4789

埼玉県立近代美術館

〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
Tel 048-824-0111 Fax 048-824-0119
HP : <http://www.momas.jp/>
JR 京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分、北浦和公園内
(東京方面からは大宮行きをご利用ください)
当館には専用駐車場はございませんが、近くの市営駐車場
(有料) がご利用いただけます。
団体バスは事前にご連絡いただければ駐車できます。



埼玉県障害者アートフェスティバル

障害者が創り出す作品の中には、今までの「常識」がくつがえされてしまうような芸術性や創造性にあふれた作品が数多くあります。このフェスティバルは、そうした作品などを通じて、障害者が芸術・文化面で持つ豊かな力を広く紹介する取り組みです。